

カナダ史年表(～1867)

岡 本 民 夫

近年、国際化時代の到来とともに、外国の特定地域を研究対象とする、いわゆる国際レベルの地域研究 (area study) が盛んになっている。このような状況のなかで、これまであまり研究対象地域として取り上げられなかったカナダに関する研究が順に隆盛をみせはじめている。殊に日本においては1970年代中葉以降、カナダ関係研究者が結成した日本カナダ学会 (Japanese Association for Canadian Studies) の発足 (1976年) を契機として急速に発展をみせるようになってきている。この組織は人文・社会科学から自然科学までを網羅した学際的な学会であると同時に海外の研究者も加入している国際色豊かな学会でもある。しかし、本格的な研究がはじまって日が浅く、現段階では、個別科学における研究の深化と精緻な業績の積み上げをしていくことが当面の課題であるといわなければならない。

このような状況のなかで、差し当って研究活動を着実に発展させていくためには、基礎的な文献資料の体系的整理が不可欠な条件の一つとなることはいうまでもない。

カナダ史年表はかかる方向づけの一環として現時点までに渉猟し、入手しえた文献資料のなかから、カナダ研究にとって重要だと判断される史実をとりあげ、整理したものである。とはいえ限られた資料と時間的制約のなかでの作業であったため、十分点検したつもりではあるが、重要な史実に関する遺漏や思わぬ誤謬を犯しているかも知れない。諸家のご教示、ご批判をえて一層充実したものに仕立て上げたいと念願している。

今回は紙幅の関係から、カナダが探検の対象にすぎなかった1400年頃から建国に至るまでとし、それ以降に関しては次号以後に掲載する予定にしている。

なお、本年表作成に当って、伊藤勝美氏 (政治学)、内田政秀氏 (キリスト教学)、江川良一氏 (アメリカ史)、北川勝彦氏 (国際経済学)、杉本公彦氏 (経済史)、関口礼子氏 (教育社会学)、田村謙二氏 (英文学)、南良成氏 (演劇論)、渡辺昇氏 (英米文学) の諸氏には、貴重な助言と資料の提供さらには点検、確認等々絶大なご協力とご援助を頂いた。ここに記して、深謝致します。

カナダ史年表

西暦	政治・外交・探険	経済・社会・技術
1000頃	レイフ＝エリクソン、北米大陸東沿岸に到達。	
1479		
1485		
1492		
1494		
1497	6.24. ジョン＝カボット、ニューファウンドランド北端に到達：第一次航海（5月2日～8月6日）	
1498	カボット、ハドソン海峡を発見す。	
1501	3.19. 「ニューファウンドランド冒険商人組合」、ヘンリー7世より特許状を付与さる：以後4年間、毎年航海。	
"	5.一. ガスパール＝コルテ＝レアル、ポルトガルのためにニューファウンドランドおよびラブラドルに上陸。	
1504	セント・ジョンズ、イギリス人漁業の拠点として設立さる。	
1517		
1521		
1524	1.17. イタリア人G＝ヴェラツァーノ、フランソワ1世の命により北米東岸探険に出発：ケープ・フィアからノヴァスコシアに至る。	
1526		
1533		
1534	7.24. ジャック＝カルティエ、第1次航海でガスベに十字架を建て、フランス領であることを宣言。	
1535	9.14. カルティエ、第2次航海でス	

カナダ史年表

西暦	政治・外交・探険	経済・社会・技術
1534	タダコナ（ケベック）を探険。 10. 2. カルティエ、第2次航海でホ シラガ（モントリオール）を探険。	
1541	5. 23. カルティエ、第3次探険行に 出発：幻のサゲネー王国を求め、キ ャップ・ルージュにて越冬。小麦、 キャベツ、かぶら、レタスを植える。	
1542	6. 8. シュール＝ド＝ロバーヴァル 隊、セント・ジョンズにてカルティ エと合流。	
1543	6. 6. ド＝ロバーヴァル、サゲネー 王国探査に出発：無為のまま帰国。	
1555		
1562		
1563		
1568		
1576	6. 7. イギリス人マーティン＝フロ ビシャー、第1次航海に出発：パフ フィンランド、フロビシャー湾に至る。	
1577	5. 26. フロビシャーの第2次航海 （～9月23日）：パフィンランドに 上陸。	
1578	5. 31. フロビシャーの第3次航海 （～10月31日）：ハドソン海峡を発見。	
1583	ハンフリー＝ギルバート、ニューファ ウンドランドに到り、イギリスの主 権を宣言。	
1585	6. 7. イギリス人ジョン＝デーヴィ ス、北西航路探険に出発（～1587年 9月15日）：デーヴィス海峡を発見。	
1588		
1589		
1592		
1598		1. 12. フランス人ラ＝ロッシュ侯、

カナダ史年表

西暦	政治・外交・探険	経済・社会・技術
		アンリ 4 世より全カナダ地域の毛皮 交易と植民の独占権を認可さる：セ ーブル諸島に植民。5年後放棄。
1598		
1600		
1603	3. 15. サムエル＝ド＝シャンプラン、	
	前後11回の最初の探険行に出発。	
"	6. 22. シャンプラン、ケベックに初	
	上陸。	
"	11. 8. シュール＝ド＝モン、ラ＝ロ	
	ッシュ侯の独占権を譲渡さる。	
1604		6. 1. フランス東インド会社設立。
"	6. 25. ド＝モン、サン・クロワ川口	
	に植民地建設：この植民地は1607年、	
	ポール・ロワイヤルへ移動。	
1606		
1608	7. 3. シャンプラン、ケベック建	
	設：アルゴンキン族、ヒューロン族	
	との友好を固む。	
1609	7. 30. シャンプラン、リシュリユー	
	川を溯江、シャンプレーン湖を発見。	
1610	8. 3. ヘンリー＝ハドソン、自らの	
	最終航海中、ハドソン湾、及びジェ	
	ームズ湾を探険。	
"	ジェームズ 1 世、プリストルのジョン	
	＝ガイに、ニューファウンドランド	
	植民の特許状下付：植民活動開始。	
1611	エチエンヌ＝ブリュレ、オタワ川を探	
	険。	
1613	5. 27. シャンプラン、オタワ川探険	
	(～6月7日)	
"	11. 9. イギリス軍、ポール・ロワイ	
	ヤルを急襲、破壊す。	
1616		

カナダ史年表

文 化	国 外
<p>11.14. カナダ最初の劇, マーク=レスカ ルボの「ニューフランスにおけるネプチ ューン劇」初演。</p> <p>最初の学校, タダサックとトロワ・リヴィ</p>	<p>-ナントの勅令発布: ユグノー戦争終結。 -関ヶ原の戦い。 -ジェームズ1世即位: スチュアート朝成立。 江戸幕府成立。</p> <p>-ミハイロ=ロマノフ即位: ロマノフ朝成立。</p>

カナダ史年表

西暦	政治・外交・探険	経済・社会・技術
1617	6. 4. ケベック最初の定住者、ルイ＝エペール一家到着。	
1618		
1621	8. 15. シャンプラン、ニューフランス副総督となる。	法令集が發布される。出生、死亡及び婚姻の登録が開始される。
"	9. 10. ジェームズ1世、サー＝ウィリアム＝アレギザンダーに、ノヴァスコシア植民の特許状下付。	
1622	ブリュレ、スペリオール湖を発見。	
1623	6. 5. ノヴァスコシアへのイギリス人移民到着。	
1627	4. 25. リシュリユー、ニューフランス会社（百人協会）を設立、カナダ支配を委任す。	
1628	サー＝デヴィッド＝カーク、ポール・ロワイヤルを攻略。	
1629	4. 24. 英仏間戦争の終結：スーサの和約成立。	
"	7. 20. アレギザンダーとカーク、協力してケベックを攻略：シャンプラン捕縛る。	
1630		
1632	3. 29. 英仏間のサン・ジェルマン・アン・レーの条約成立。フランス、カナダとアカディアを回復す。	
1633	5. 23. シャンプラン、ニューフランスの初代総督となる。	
1634	7. 1. ジャン＝ニコル、内陸探険に出発：ミシシッピ河に達したと信じられる。	
"	7. 4. シャンプラン、トロワリヴィエールを建設。	
1635	12. 25. シャンプラン、ケベックにて没。	ケベックに老人、病弱者用の福祉施設“Hotels dieu”が設立される。

カナダ史年表

西暦	政治・外交・探険	経済・社会・技術
1637	11.13. ニューファウンドランド、カークに付与さる。	
1639		
1640	11. 2. ジャン＝ド＝ブレイブーフ、内陸探険に出発。(～1614年2月)：イリー湖発見。	
1641		モントリオールに老人、病弱者用の福祉施設“Hotels dieu”が設立さる。
1642	5.17. メゾヌーヴ、ヴィル・マリー(モントリオール)建設。	
1644		
1645		1.14. 居住民会社、ニューフランス会社より通商権を委譲さる。
1648	3. 5. ニューフランス評議会設置さる。	
1653	11. 5. ケベックにてイロクォワ族との講和成立：オランダに支援されたイロクォワの攻勢止む。	
1654	8.一. アケイディア地方、ニューイングランド軍の侵入により奪わる：以後10数年間、イギリスの支配続く。	
1655	11. 3. 英仏ウエストミンスター条約：アケイディアをフランスへ返還することを約す。	
1659		
"		
1660		
1662	フランスが軍隊と移民を上陸させ、ニューファウンドランドに植民地を設立。	
1663	3.21. ニューフランス会社、特許状	

カナダ史年表

文 化	国 外
<p>—フランス語、及び原住民の方言による教育、オンタリオ、ヒューロニアにおいてイエズス会により実施（～1649年）。</p>	<p>—江戸幕府、鎖国令発布。</p>
<p>—初の女学校、ケベックに開設。</p>	<p>—ピューリタン革命開始。</p> <p>—明滅亡：清軍の入関。</p> <p>—ウエストファリア条約：30年戦争終結。スイス、オランダの独立承認。</p>
<p>6.16. フランソワ＝ド＝ラヴァル、教皇代理教区長としてカナダに到来。 ノートルダム教会修道院、マルグリット＝ド＝ブルジョワによりモントリオールに創立。</p>	<p>—王政復古：チャールズ2世帰国。</p>
<p>—「大セミナー」（宣教師の養成機関）、</p>	

カナダ史年表

西暦	政治・外交・探険	経済・社会・技術
1663	<p>の権利放棄：カナダ，フランス国王（ルイ14世）の直轄領となる。</p> <p>4. 一. ニューフランス最高評議会，設置さる。</p>	
1664		5. 28. フランス，西インド会社を設立。
1665	3. 23. ジャン＝タロン，総督に任命さる。	
1665	12. 3. ケベックにて，イロクォワ5部族との和平条約締結：イギリスと提携せるイロクォワとの紛争解決。	
1666		ニューフランスにおいて最初の人口調査が実施さる。
1667	7. 21. ブレダの和約成立：ルイ14世のネーデルランド侵略終結。アケイディア地方，フランスに返還。	
1668		
"		
1670	5. 2. ハドソン湾会社，イギリス王チャールズ2世の特許を得て設立：総督にルパート親王就任。	
1672	4. 6. フロントナク伯，総督に任命さる。（1682年解任）	
1673	6. 17. ジャック＝マルケット神父とルイ＝ジョリエ，ミシシッピー河に到達。	
"	7. 17. マルケットとジョリエ，アーカンソー川に達す。	
1674	10. 1. ケベック教区を設立：ラヴェルを初代司教に任命。	
1676		
1678	12. 一. ルイ＝エネパン神父，ナイアガラ瀑布を発見。	

カナダ史年表

西暦	政治・外交・探険	経済・社会・技術
1680	8. 10. ラ=サール, 五大湖一帯を探険, 現デトロイト付近に到達。	
1681		ニューフランスの人口, 9,677人。
1682	4. 9. ラ=サール, ミシシッピー河口に到達: 全流域をルイジアナと命名し, フランス領とす。	
1685		最初のカード・マネー発行。
1686	7. 1. ハドソン湾南岸のイギリス軍駐屯地ルパート砦を, シュール=デイベルヴィーユが奪取: フランス軍, 周辺一帯で攻勢。	
1686	11. 6. ルイ14世とジェームズ2世の間に, アメリカ大陸の領有に関し, 中立条約成立す。	
1687	3. 18. ラ=サール, 現テキサス州ナヴァソタ近辺で暗殺さる。	
1688		
1689	5. 12. ウィリアム王戦争 (=アウグスブルグ同盟戦争) 勃発: カナダ各地で, 英仏間, 及びフランスとイロクォワ族との間に戦闘が続く。	
"	6. 7. フロントナク, 総督に再任命。	
1690	5. 11. サー=ウィリアム=フィッップス麾下のマサチューセッツ軍, ポール・ロワイヤルを攻略: 1年後, フランス軍奪回す。	
1694		「教会慈善養育院」(孤児教育施設), フランソワ=シャロンにより設立。
1697	9. 20. ライスワイクの和議成立: 占領地相互に返還。	
1698		
1701		

カナダ史年表

文 化	国 外
<p>- 尼僧教育のための修道会，マルグリット＝ド＝ブルジョワによりニューフランスに設立。</p> <p>- カナダ初の師範学校，ケベックに設立：後に「シャトー・リシエ」となるも，不成功に終る。</p>	<p>- 名譽革命。</p>

カナダ史年表

西暦	政治・外交・探険	経済・社会・技術
1702	5. 4. アン女王戦争（＝スペイン継承戦争）始まる。	
1703		
1704	2. 29. フランスの同盟者アブナキ族、マサチューセッツのディアフィールドを破壊：メイン地方を荒掠。	
1708	12. 21. フランス軍、ニューファウンドランドのセント・ジョンズ市を攻略：東部沿岸一帯を制圧。	
1709	イギリス軍、カナダに侵入。	
1710	10. 16. フランシス＝ニコルソン麾下の英軍、第3次攻撃の末、ポール・ロワイヤルを攻略：アナポリス・ロイヤルと改名す。	
1713	4. 11. ユトレヒトの和約によりアン女王戦争終了：ニューファウンドランド、アケイディア、ハドソン湾はイギリス領となる。	ニューフランスの人口、18,469人となる。
"	6. 23. アケイディア在住のフランス人に対し、退去命令。	
"	8. 一. フランス、ケープ・ブレトン島にルイブール要塞構築。	
1714		
1716		
1717		
1718	11. 一. ジョン＝バプチスト＝ル＝ムワン、ニューオールリーンズ建設：ルイジアナ植民地形成。	
1721		1. 27. ケベックーモンリオール間に郵便制度開設。
1727		
1732	5. 27. ジョン＝バプチスト＝ラ＝ヴェランドリ、ウイニペグ湖へ向って	

カナダ史年表

西暦	政治・外交・探険	経済・社会・技術
1733	出発：発見に成功。	
1743	1. 1. ラ＝ヴェランドリの一族，ロッキー山脈を発見。	
1744	3. 15. ジョージ王戦争開始。	
"	10. 6. フランス軍，アナポリス・ロイヤルの攻撃に失敗。	
1745	6. 16. ウィリアム＝ペパレル麾下のニューイングランド軍，ルイブールを攻略。	
1748	10. 18. エクス・ラ・シャペルの和約：ルイブール，インドのマドラスと交換の形でフランスに戻る。	
1749	6. 一. ハリファックス，イギリス陸海軍駐屯地に選定さる。	
1750		
1752		ハリファックスに孤児院設立さる。
1754	4. 17. フランス人，オハイオ川畔に進出，デュケース砦を構築。	ニューフランスの人口センサス。55,009人。
"	5. 28. オハイオのグレート・メドウズでの小戦闘。ジョージ＝ワシントン捕わる：フレンチ・アンド・インディアン戦争開始。	
1755	7. 9. エドワード＝ブラドック將軍麾下のイギリス正規軍，デュケース砦附近で大敗。	ハリファックスにカナダ初の郵便局開設。
"	7. 一. アケイディア人の追放始まる。	
1756	5. 11. フランス軍総司令官モンカルム侯，カナダに到着。	

カナダ史年表

文 化	国 外
<p>-カナダ最古の英国国教会, 聖パウロ教会, ハリファックスに設立。</p> <p>3.25. カナダ初の新聞, ハリファックス 『ギャゼット』発刊。</p>	<p>-ポーランド継承戦争 (～1935年)。</p>

カナダ史年表

西暦	政治・外交・探険	経済・社会・技術
1756	5. 15. 七年戦争開始：イギリス、フランスに宣戦布告す。	
"	8. 9. モンカルム侯、オスウェゴ砦を攻略：ジョージ湖畔へ進出し、(～1757年)カナダへの侵入路を制圧。	
1757	6. 29. ウィリアム＝ピット首相に復帰、戦争指導に乗り出す。	
1758	7. 26. ルイブール陥落：ケベック市への進入路開かる。	
"	ノヴァスコシアの植民者代表議会の選挙を許可：10月7日、初の代議制議会開会。	
1759	9. 13. ケベック郊外アブラハム平原の戦闘：英将ジェームズ＝ウルフ、仏将モンカルム侯共に戦死。	ノヴァスコシアに公設の労役場、開設さる。
"	9. 18. 要塞都市ケベック降伏。	
1760	9. 8. モントリオール降伏す：イギリス軍政、ニューフランス消滅す。	
1762	ニューブランズウィックにイギリスによる最初の植民行なわる。	ノヴァスコシアにイギリス救貧法適用さる。
1763	2. 10. パリ講和条約締結：北米におけるイギリスの覇権確立。英領カナダ成立。ニューファウンドランド沖のフランスの漁業権回復。	
"	5. 一. オタワ族酋長、ポンティアクの反乱起る。ブラッディ・ランでイギリス軍敗る。	
"	10. 7. 国王宣言公布：ニューフランス、英領ケベックとして統轄。アパラチア山脈以西をインディアン保留地として、開拓線閉鎖。民政宣言。	
"	11. 21. ジェイムズ＝マレー将軍、総督に任命さる。	
1764		11. 10. インディアンに対する酒類の販売禁止。

カナダ史年表

文 化	国 外
<p>— アダム＝アランの『優しき新参羊飼』（喜劇仕立ての詩劇）、ロンドンで出版。</p>	<p>— プラッシーの戦：クライブ、仏・印連合軍を撃破。</p>

カナダ史年表

西暦	政治・外交・探険	経済・社会・技術
1764		ニューブランズウィックにイギリス救貧法、適用さる。
1765		
1766	7. 24. ポンティアク、オスウェゴにおいて和約締結。	
"		
1769	8. 4. サンジャン島、ノヴァスコシアから分立。	
1772		
1773		
1774	6. 22. ケベック条例制定（翌年5月1日発効）	
"	10. 26. アメリカ植民地の第1回大陸会議、ケベックへ代表派遣を招請。 （但し会議は、1775年5月10日再開を決めて、当日より休会）	
1775	4. 19. レキシントン、コンコードにおける武力衝突：アメリカ独立戦争始まる。	
"	5. 10. アメリカ独立軍、タイコンデロガ砦を占領。	
"	5. 16. アメリカ独立軍、国境を越えてセント・ジョンズを占領：カナダ侵攻開始。	
"	11. 13. リチャード＝モンゴメリー麾下のアメリカ独立軍、モントリオール占領。	
"	12. 31. アメリカ独立軍のケベック攻撃失敗：米将モンゴメリー戦死。	
1776	5. 6. ケベック救援のイギリス艦隊、セント・ローレンス河に到着：独立軍退却（～7月）	

カナダ史年表

西暦	政治・外交・探険	経済・社会・技術
1777	6. 17. ジョン＝バーゴインとセント＝リーガーの両軍、2方面よりニューヨーク侵攻作戦開始。	
1778	10. 17. サラトガの戦：バーゴイン、包囲されて降伏。カナダ側の南下作戦失敗。	
1778	2. 6. フランス、アメリカ側に立って参戦。	
1779	3. 29. ジェイムズ＝クック、ヌートカ・サウンド探険。	
1779		4. 24. ノース・ウエスト会社設立。
1783	9. 3. パリ条約成立：アメリカ合衆国の独立承認。英領北アメリカと領域設定。	
1784	8. 一. ニューブランズウィックと、ケープ・ブレトン両植民地、ノヴァスコシアより分離、設立。	
1786		
1787		
1788	5. 5. エステバン＝マルティネスのスペイン遠征隊、ヌートカ・サウンドに到達。	
1789	6. 3. アレギザンダー＝マッケンジーの探険（～9月12日）：同名の川を航行。	ケベック及びハリファックスで農事協会設立。
1789	6. 24. ヌートカ・サウンド、マルティネスによりスペイン領と宣言さる。	
1789		

カナダ史年表

文 化	国 外
<p>- 9. 3. モントリオール『ギャゼット』紙創刊。</p> <p>-ヘンリー＝アライン、『聖歌と霊歌』発行。</p> <p>-C＝イングリス、ノヴァスコシアの英国国教会監督に就任（大英帝国における最初の植民地監督管区）。</p> <p>-キングズカレッジ、ノヴァスコシアのウィンザーに開設。</p> <p>初のグラマースクール、ノヴァスコシアの英国国教会監督により、ウィンザーに開設。</p>	<p>7. 4. アメリカ独立宣言。</p> <p>-松平定信、老中となる：寛政の改革（～1793年）。</p> <p>7.14. フランス革命勃発。</p>

カナダ史年表

西暦	政治・外交・探険	経済・社会・技術
1790	ヌートカ・サウンド協定：スペイン、太平洋岸地方の統治権、放棄す。	
1791	6. 10. 憲法条例（カナダ条例）制定。カナダという名称が正式に認められる。旧ケベック州、アパー・カナダとローワー・カナダに分割さる。	
"		
"	12. 26. 憲法条例発効	
1792	8. 28. ジョージバンクーバー、バンクーバー島を周航。	
"	9. 17. アパー・カナダ議会、ニューアーク（ナイアガラ）で開かる。	
"	12. 17. ローワー・カナダ議会、ケベックで開かる。	
1793		
"		
"	7. 9. アパー・カナダへ奴隷輸入を禁止。	
"	7. 22. マッケンジー、陸路太平洋岸に到達。	
"	ヨーク（トロント）、ジョン＝シムコーにより設立さる。	
1794	8. 20. フォールン・ティンバースの戦闘：合衆国のアンソニー＝ウェイ、インディアン諸部族を撃破。カナダの「オハイオ緩衝国」形成の企図崩る。	
"	11. 19. イギリス－合衆国間にジェイ条約締結：五大湖南方地方のイギリス軍駐留拠点を1796年までに明け渡すことに同意す。	
"	ヨーク、アパー・カナダの首都となる。	

カナダ史年表

文 化	国 外
<p>9.17. 『エリザベス＝シムコー：ジョン＝グレイヴズ＝シムコー夫人の日記』（～1796年10月16日。出版は1911年）。</p>	<p>—国民公会成立：フランス第1共和政開始。</p>
<p>4.18. 『アパー・カナダ・ギャゼット』紙創刊。</p> <p>6.28. ジェイコブ＝マウンテン、最初のケベック英国国教会監督に就任。</p> <p>オンタリオ地方初の原住民向け英語学校、ディヴィット＝ザイスバーガーによりフェアフィールドに開設（英語とデラウェア族の原語教授）。</p>	<p>—第2回ポーランド分割。 —第1回対仏大同盟成立。 —ジャコバン党の恐怖政治。</p> <p>—テルミドールの反動：ロベスピエールら処刑。</p>

カナダ史年表

西暦	政治・外交・探険	経済・社会・技術
1795	3. 28. スペイン, ノートカ・サウ ンドを放棄。	XY会社(ニュー・ノースウエスト 会社)設立。
1798	3. 15. 英一米間の協定: サン・クロ ワ川を, ニューブランズウィックと 合衆国北東部との国境と定む。	
"	11. 一. サンジャン島, プリン ス・エドワード・アイランドと改称さ る。	孤児救済法が成立。
1799		
1800		
"		
1801		
1802		
1803		
1804		11. 5. XY会社, ノースウエスト 会社に併合。
1805	6. 一. サイモン=フレイザー, ロ ッキー山脈を越える。	
1806		
"		11. 一. 人口——アパー・カナダ, 70,718人, ロワー・カナダ, 250,000 人, ニューブランズウィック, 35,0 00人, ノヴァスコシア, 65,000人, プリンス・エドワード・アイランド, 9,676人。
1807		
1808		

カナダ史年表

文 化	国 外
- サミュエル＝ハーン、『北西旅行記』発行。	- 第3回ポーランド分割：ポーランド滅亡。
- 将来のグラマースクール及び大学設立のための54万エーカーの土地、初代総督ジョン＝シムコーの努力により英政府より認可。	- 第2回対仏大同盟。
- 初の公共図書館、アパー・カナダのナイアガラに開設。 - ニューブランズウィック・カレッジ、フレデリクトンに創立（現ニューブランズウィック大学）。	- ブリュメール18日のクーデター：ナポレオン、執政政府を樹立。ナポレオン戦争開始。
- サー＝アレギザンダー＝マッケンジー、『北アメリカ横断記：モントリオールから太平洋まで』発行。	- アミアンの和約。
11.22. フランス語のみによる初の新聞『ル・カナディエン』発刊。	- アメリカ、フランスからルイジアナ購入。
11.一. ニューファウンドランドで『ロイヤル・ギャゼット』紙発刊。 - ヘンリー＝アライン、『ヘンリー＝アライン師の生涯と日記』発刊。	- ナポレオン皇帝となる：フランス第1帝政開始。
- 地域公立学校法、オンタリオにおいて議会通過：同地域における中等教育の基礎となる。 - 「学校設立振興法」、ノヴァスコシア議会	- 第3回対仏大同盟。アウステルリッツの戦、トラファルガーの海戦。
	- 神聖ローマ帝国滅亡。大陸封鎖令布告。

カナダ史年表

西暦	政治・外交・探険	経済・社会・技術
1809	3. 30. ケベック条例により返還されたラブラドル地方, ニューファウンドランドに再併合。	
1810		ケベックに友愛協会設立さる。
1811		6. 12. セルカーク卿, ハドソン湾会社より, 植民地建設のため, レッド川周辺の土地を付与さる。
"	7. 15. デイビット＝トムプソン, コロンビア川を下り, アストリアに到達。	ニューファウンドランドで土地私有制が法制化さる。
"	11. 7～8. ティペカヌーの戦: ウィリアム＝ハリソン, テカムセの率いるインディアン連合軍を破る。「タカ派」反英感情を煽る。	
1812	6. 18. 合衆国, 対英宣戦布告: 第2次英米戦争始まる。	
"	7. 12. 合衆国のウィリアム＝ハル將軍, デトロイトより, アパー・カナダに侵攻。	
"	8. 16. アイザック・ブロックの反攻, ハル將軍デトロイトを放棄す。	
"		8. 30. セルカーク卿の率いる第1次入植者, レッドリバーの地に到着す。
"	10. 13. クィーンストンハイツの戦闘: I＝ブロック戦死。合衆国軍の攻勢挫折す。	
1813	1. 22. イギリス軍, フレンチタウンの勝利(4月27日)。	
"	4. 27. 合衆国軍の急襲によりヨーク炎上す。	
"	9. 10. イリー湖上の戦: オリヴァー＝ペリー, イギリス艦隊を撃破す。	
"	10. 5. テームズ川畔の戦: ハリソン,	

カナダ史年表

文 化	国 外
<p>により制定 (1819年に修正)。 ヘンリー＝アレギザンダー、『カナダ旅行 と冒険』発行。</p> <p>3.17. フランス語紙『ル・カナディエ ン』, 刊行禁止。</p>	<p>第4回対仏大同盟: ナポレオン、ライプチ ヒに敗る。</p>

カナダ史年表

西暦	政治・外交・探険	経済・社会・技術	
	イギリス・インディアン連合軍を撃破。テカムセ敗死。		
1813	12. 30. イギリス軍、ナイアガラ砦を強襲、バッファロー市炎上す。		
1814	5. 6. イギリス軍、オスウェゴ攻略。	アパー・カナダの人口、95,000人、ローワー・カナダの人口335,000人。	
"	7. 5. チッペワの戦闘：合衆国軍の勝利。		
"	7. 25. ランディ・レーンの戦：イギリス軍の勝利。		
"	8. 2. イリー砦の攻防戦：合衆国軍、同砦を固守す（～9月1日）。		
"	9. 11. シャンプレーン湖及びブラッツバーグの戦：カナダの南下策挫折。		
"	12. 24. ガンの講和成立：戦争終結。境界を戦前の状態に戻す。		
1815			6. 11～15. レッドリバー植民地、ノースウエスト会社の攻撃により破壊さる。
"	7. 3. ロンドン協定成立：合衆国との貿易規制さる。		モンリオールにカナダ最初の組織慈善団体である慈善姉妹協会成立。
1816			6. 19. セヴン・オークスの戦：ノースウエスト会社による再度のレッドリバー襲撃。総督センブル以下約20人殺害さる。
1817			1. 10. セルカーク軍により、レッドリバー植民地奪回さる。
"	4. 28～29. ラッシューバゴット協定成立：五大湖における英一米の海軍力制限に関する協約。		
"	7. 18. 北西部インディアン諸部族との最初の条約締結。		
"		10. 1. モントリオール銀行開設、最初の銀行券発行さる。	
1818	10. 20. ロンドン条約成立：加一米間の国境、ウッズ湖ーロッキー山脈間を北緯49度線で確認。ラブラドル、		

カナダ史年表

文 化	国 外
<p>教育計画案、アパー・カナダにてジョン＝ストローンにより提出。</p> <p>初の矯正学校、ハリファックスに200ポンドの政府助成金を得て設立。</p> <p>グラマースクール法、普通学校法、ニューブランズウィック議会により制定。</p> <p>10. 20. ダルハウジー・カレッジ、ハリファックスに創立。</p> <p>学問振興王立協会創設：37の学校行政を監</p>	<p>ウィーン会議開催。</p> <p>ナポレオン百日天下：ワーテルローの戦、セント・ヘレナ流刑。神聖同盟、四国同盟結成。</p> <p>アーヘン列国会議：五国同盟成立。</p>

カナダ史年表

西暦	政治・外交・探険	経済・社会・技術
1818	ニューファンドランド周辺での漁業権協定を含む。オレゴン地方は10年間、両国の共同所有の形をとる。	
"		
1819		ノヴァスコシアでハリファックス婦人慈善協会成立。
1820	10. 16. ケープ・ブレトン、ノヴァスコシア植民地に再合併。	
1821		3. 26. ハドソン湾会社、ノースウエスト会社を吸収合併。
"	12. 5. 新ハドソン湾会社の特許期限、21年間の更新。	
1822		8. 5. 帝国通商法成立：アパーローワー両カナダ間の通商・金融関係に関する規定。
1823		
1824		アパー・カナダの人口、150,066人、ニューブラウンズウィックの人口74,176人。
"		
1825	2. 28. 英領北アメリカとロシア領アラスカ間の国境確定。	ロワー・カナダの人口、479,288人、ニューファンドランドの人口、55,719人。
"		ラシーヌ運河開かる。
1826	バイタウン（オタワ）、建設。	
1827	8. 6. オレゴン地方に関する、1818年のアングロアメリカ会議による英一米間の協定更新。	
1828		
1829		11. 27. ウェランド運河開かる。
"		

カナダ史年表

文 化	国 外
<p>督。 初のミッション・スクール、レッドリバー地区に開設。</p> <p>-マギル・カレッジ設立：ロワー・カナダのイギリス系カナダ人に高等教育授与。</p> <p>-モントリオールで『カナダの雑誌と文庫』誌発刊（～1825年）。</p> <p>-ファブリック条例通過（フランス系カナダ人のファブリック学校開始）。</p> <p>ウィリアム＝L＝マッケンジー『コロニアル・アドヴォケイト』紙発刊（～1834年）。</p> <p>-ジセフ＝ハウ，『西部散策』発行。 オリヴァー＝ゴールドスミス，『目覚めゆく村』（イギリス系初の詩の本）発行。</p> <p>-キングズ・カレッジ，トロント設立に勅許。</p> <p>-ジセフ＝ハウ，『ノヴァスコシア』紙発刊。</p> <p>-アパー・カナダのメソジスト教会，合衆国の教会より分離。</p> <p>-アパー・カナダ・カレッジ創立。 女学校，アンジェリック＝ノラン（メティスの女性）により，セント・ボンファスに開設。</p>	<p>-ギリシア独立戦争始まる（～1829年，承認）。</p> <p>-モンロー主義宣言。</p>

カナダ史年表

西暦	政治・外交・探険	経済・社会・技術
"		
"		
"		
"		
1830		
"		
1831		ケベック保健局設置さる。
"		
"		
1832		5. 30. リドー運河開かる。
"		
1833	1. 1. ニューファウンドランドで議 会創設さる。	
"		
1835	2. 21. ロワー・カナダ議会、住民の 苦情に関する92カ条の決議を可決。	
1836		カナダ最初の鉄道開通（ラプレリーか らサンジャンまで）
"		英領北アメリカ銀行、ニューファウン ドランドに開設。
"		
"		
1837	11. 22. ルイ＝J＝パピノー、ロワ	

カナダ史年表

文 化	国 外
<p>初等教育振興法成立（1835年までに1372の トラスティ・スクール設立）。</p> <p>マギル大学開設。</p> <p>エジャトン＝ライアスン、『クリスチ ン・ガーディアン』紙発刊。</p> <p>トマス＝チャンドラ＝ハリバートン、 『ノヴァスコシアの歴史と統計報告』発 行。</p> <p>-フランス語紙『ル・カナディエン』再刊。 初の職業訓練所、ヨークに設立。</p> <p>6. 1. ジェームズ＝ロスによる北磁極の 発見。</p> <p>クウィーンズ大学、長老教会によりキング ストンに設立の勅許。</p> <p>アパー・カナダ・アカデミー、メソジスト 教徒らにより、コーバーグに設立。</p> <p>-無償普通教育の考え、公立学校法案に導入 （～1833年）（実現せず）。</p> <p>ウィリアム＝‘タイガー’＝ダンロップ、『ア パー・カナダの統計的概要』発行。</p> <p>-ジョン＝リチャードスン少佐、『ワークズ タ：予言―両カナダの物語』発行。</p> <p>ウィリアム＝L＝マッケンジー、『カナダ と合衆国の点描』発行。</p> <p>-リピンコッツ出版社創設。</p> <p>キャサリン＝パー＝トレイル、『カナダの 辺境』（書簡集）発行。</p> <p>ヴィクトリア・カレッジ（メソジスト系）、 コーバーグに開設：後にトロントに移 転。</p> <p>公立普通学校、ケベックとモンリオール に開設。</p> <p>-ガス灯、モンリオールで使用開始。</p>	<p>-フランス7月革命：オルレアン王朝成立。 マンチェスター――リヴァプール間鉄道開 通。</p> <p>-イギリス、第1次選挙法改正。</p> <p>-イギリス東インド会社の独占通商権廃止。</p> <p>-ヴィクトリア女王即位（～1901年）。</p>

カナダ史年表

西暦	政治・外交・探険	経済・社会・技術
	ー・カナダより逃亡：合衆国の助力を頼る。	
1837	12.13. ウィリアム＝L＝マッケンジー、加一米国境ネイヴィ島で臨時政府樹立声明。加一米間緊張す。	
"	12.29. キャロライン号事件：ナイアガラ川畔で、カナダ民兵の中立侵犯。合衆国市民を殺害。反英感情高まる。	
1838	1. 5. ヴァン＝ビューレン大統領、両カナダの反乱に対し、中立宣言を布告：国境警備のためウィンフィールド＝スコット麾下の正規軍を派遣。	
"	2.10. ローワー・カナダの憲法停止、特別評議会設置さる。	
"	5.29. 合衆国人、セントローレンス河畔で、カナダ汽船「サー・ロバート・ピール号」焼打：秘密結社「狩人小屋」、カナダ内のイギリス体制転覆を計る。	
"	5.30. ハドソン湾会社に、向う21年間の特許状更新。	
"	6.28. 政治犯について恩赦。	
"	11.21. ヴァン＝ビューレン、第2次中立宣言布告：暴力行為に対する速かな処置を指令。	
1839	2.11. 「ダラム報告」、イギリス議事に提出さる。	
"	2.12. 「アルーストック戦争」開始：ニューブランズウィックと合衆国メイン州との国境紛争。メイン州役人ルファス＝マッケンタイヤーを捕う。	
"	3.23. 「アルーストック戦争」の休戦協定成立：ヴァン＝ビューレンの命によりウィンフィールド＝スコット將軍、両者の間を調停、解決を	

カナダ史年表

文 化	国 外
<p>トマス＝チャードラ＝ハリバートン、『時計師—またの名スリックヴィルのサム＝スリック言行録』発行（～1840）。 ジョン＝ラヴェル（主宰）、『リテラリー・ガーランド』誌発刊（～1851年）。 師範学校、モンリオールに開設（～1842年）。</p>	
<p>—独自の学校設立の請願、ハミルトンの黒人により提出。 アンナ＝マーフィー＝ジェイムスン、『カナダにおける冬の瞑想と夏の散策』発行。</p>	<p>—チャーティスト運動始まる。天保の改革（～1843年）。</p>
<p>—ヘンリー＝スクールクラフト『北米インディアン研究』発行。ジョン・ストロークン、最初のトロント英国国教会監督に就任。 新グラマー・スクール法、アパー・カナダにおいて制定：以後公式にグラマー・スクールの名称使用さる。</p>	

カナダ史年表

西暦	政治・外交・探険	経済・社会・技術
1840	国境委員会に委任。	7. 4. キュナード汽船会社のブリタニア号、初めてハリファックスに寄港。
"	7. 23. 合同条例、制定。	
1841	2. 10. アパー・カナダとロワー・カナダの両州が合同され、カナダ州となる。首都はキングストン。	
"	6. 13. カナダ合同議会開かる。	
"	10. 12. キャロライン号事件の犯人、アレギザンダー＝マクロード釈放：英米間の緊張緩和す。	
1842		カソリック系移民、アイルランド飢饉により157パーセントの増加(～1851年)。
"	8. 9. ウェプスター＝アシュバートン条約締結：メイン州との国境及びロッキー以東の国境の最終的確定。	
"	9. 16. ボールドウィン＝ラフォンテーヌ内閣成立。	
"		
"		
1843		6. 4. ハドソン湾会社、ヴィクトリアに拠点設営。
"		
"		
"		
1844	5. 10. 州都、キングストンからモンクトリオールに移る。	
"		

カナダ史年表

文 化	国 外
<p>-ジセフ=ハウ、『ノヴァスコシアのメイフラワー』（詩集）発行。 ジョン=リチャードスン少佐、『カナダ人の兄弟たち』（小説）発行。 -新普通学校法成立：以後市町村議会，教育行政を司る。 メソジスト・アカデミー，ビクトリア・カレッジとなる：4年後に初の学位授与。</p>	<p>-アヘン戦争起る（～1842年）。</p>
<p>3.10. クィーンズ・カレッジ，キングストンに開設。 独自の学校設立の要求，ロンドン北方ウィルバーフォース，セトルメントの住民により提出。 ジョン=リチャードスン少佐、『1812年の戦争』（小説）発行。 独自の学校設立の請願，セント・キャサリンズの黒人により提出。 ヴィクトリア・カレッジ，政府より補助金を受ける。</p>	<p>-南京条約締結：清，五港開港。香港をイギリスに割譲。</p>
<p>-トマス=チャンドラ=ハリバートン、『大使館員—またの名イギリスにおけるサム・スリック』発行（～1844年）。 初の無宗派大学キングストン・カレッジ（現在，大学），トロントに開設。 分離学校の設置，カナダ・ウエストの公立学校法により認可。 トロント大学設立の法案，ボールドウィンにより提出。 -『トロント・グローブ』紙発刊。 女学校，ローマ・カソリック教会により，セント・ボンファスに創立。</p>	

カナダ史年表

西暦	政治・外交・探険	経済・社会・技術
1845		5. 28. ケベックで両度の大火。 6. 28. シャンプレイシーセントローレンス鉄道の営業開始。
"	12. 2. ジェームズ＝K＝ポーク大統領、オレゴン全域への要求公表：第1年次教書。英－米間の交渉不穩。	ケベックではじめての精神病院、設立。
1846	6. 15. オレゴン国境条約成立：北緯49度線で南北に分割。ヴァンクーヴァー島は英領となる。	サンバンサン・ド・ポール協会（慈善団体）がケベックで成立。 ラシーヌ運河の水力発電事業開始。
"	6. 18. ドレイパー＝パピノー内閣成立。	
"	6. 25. イギリスの殺物法廃止：カナダに対する特惠消滅。	
1847	5. 29. シャーウッド＝パピノー内閣成立。	
"		
"		11. 15. モントリオール－ラシーヌ鉄道完成。
"		
"		
"		
"		
1848	ノヴァスコシアで英帝国最初の責任政府成立。	

カナダ史年表

文 化	国 外
<p>-クィーンズ・カレッジ, 政府より補助金を受ける。 ノックス・カレッジ, スコットランド教会より分離した自由教会によりトロントに設立。 アパー・カナダ大学設立の法案, W=H=ドレイパーにより提出 (通過せず)。</p>	<p>-アメリカ, テキサスを併合。</p>
<p>-カナダ・ウエストの教育長にライアスン就任 (～1876. 教育制度の体系確立)。 教育に関する青写真, ライアスンにより, カナダ・ウエストにて提出 (以後30年間教育改革に影響。1846年レポート)。 公立学校法, カナダ・ウエストにて制定: プロテスタント, カソリック別の教育行政確立。</p>	<p>-アメリカ=メキシコ戦争勃発 (～1848年)。</p>
<p>6.11. ウィリアム=‘タイガー’=ダンロップ, 『英米戦争 (1812—1814年) 回顧録』発行。 師範学校, ニューブランズウィックに設立。 スザナ=ムーディー, 『ヴィクトリア・マガジン』誌発刊。 師範学校, トロントに設立。 大学統合案, ジョン・マクドナルドにより, 再提出 (不通過)。 不動産税に基づく初の無償教育制度, ナイヤガラ地区にて教育長, デクスター=デヴァラードにより採用 (6つの学校が無償制のもとに発足。翌年24校となる)。 レジオポリス・カレッジ, 政府より補助金を受ける。</p>	
<p>6.30. 不動産税に基づく教育税導入の拒否により, トロント教育委員会, 学校を閉鎖 (～1849年7月2日)。</p>	<p>-フランス2月革命。 ドイツ3月革命: メッテルニヒ亡命。フランクフルト国民議会 (～1849年)。</p>

カナダ史年表

西暦	政治・外交・探険	経済・社会・技術
1848		
"		
1849		1. 13. ハドソン湾会社, ヴァンクーヴァー島を管轄下に収む。
"	4. 25. モントリオールに暴動。議事堂の焼失。	
"	6. 26. 航海条例の全廃。	
"	10. 10. イギリス系モントリオール市民の加米併合宣言: 「モントリオール・ギャゼット」紙上に発表。	
"	11. 14. カナダの州都トロントに移る。	
1850		
"		
"		
"		
1851		4. 6. 郵便制度, イギリス政府よりカナダの植民地政府に移管。
"		
"	9. 22. ケベック, カナダの州都となる。	人口——カナダ・ウエスト 952,004人, カナダ・イースト 890,261人, ニューブランズウィック, 193,800人, ノヴァスコシア 276,854人。
"	10. 28. ヒンクスーモラン内閣成立。	

カナダ史年表

文 化	国 外
<p>エジャトン＝ライアスン、『教育新聞』紙 発刊：5年間私費、以後議会が費用分 担。 初の無償学校、プレストンの町で開設。 トロント大学（学芸、法律、医学の3学部 よりなり無宗派、政府管轄）設立法案、 ボールドウィーン＝ラフォンテーヌ内閣に より成立。 公教育制度の基礎、エジャトン＝ライア スンの貢献により、カナダ・ウエストに 確立。</p>	
<p>グラマースクール、カナダ・ウエストにお いて一般教育委員会（旧名公立機関評議 会）の管轄下に編入。 普通学校大憲章（俗称）、カナダ・ウエ ストにて制定（無償教育制度の先鞭。制度 採用の可否は教育委員会の裁量）。 カナダ・ウエストの普通学校法改正：皆教 育制確立。プロテスタント、カソリック、 有色人種の分離校認可。 地区教育長、カナダ・ウエストにて郡教育 長となる。</p>	<p>太平天国の乱起る（～1864年）。</p>
<p>4. 23. カナダ初の郵便切手発売。</p> <p>ラヴァル大学、ケベック神学校の賛助を得 て設立：フランス系カナダ人の高等教育、 キリスト教会傘下編入確立。 子弟の英語による教育を受ける権利を17名 のフランス系カナダ人、地区教育委員会 に要求、認可さる。</p>	

カナダ史年表

西暦	政治・外交・探険	経済・社会・技術
1852		
"		
"		
"		
"		
"		
"		
1853		5. 10. モントリオール—リバプール間に蒸気船定期航路開設（アラン定期航路）
"		モントリオール—ニューヨーク鉄道開通
"		グランド・トランク鉄道，モントリオール—ポーランド間営業開始。
"		
"		
1854	6. 5. 加—米互惠通商条約締結：合衆国側—國務長官ウィリアム＝L＝マーシィ，カナダ側—総督エルギン卿。	
"	9. 11. カナダ州でマックナブーモラン内閣成立。	
"	9. 一. カナダ・イーストで領主的土地制度廃止。	
1855	1. 27. マックナブータシェ内閣成立。	
"		3. 9. ナイアガラ鉄道懸架橋開設
"	10. 20. トロント再び州都となる。	

カナダ史年表

文 化	国 外
<p>1. トリニティ・カレッジ, トロントで設立。 キャサリン＝パー＝トレイル, 『カナダのクルーソーたち』(体験記) 発行。 初の植民地学校ビクトリアに開設。 スザナ＝ムーデー, 『叢林地にて不便に耐ゆ』(体験記) 発行。 バイタウン・カレッジ, カナダ州政府より補助金を受ける。 セント・マイケルズ・カレッジ設立。 不動産税に基づく無償教育, ニューブランズウィックにて法制化(1871年までに採用した地域はわずか)。</p>	<p>ルイ・ナポレオン帝位につく: 第2帝政開始(～1670年)。</p>
<p>ウィリアム＝ライアン＝マッケンジー, 『マッケンジーの週通信』発刊(～1860年)。 スザナ＝ムーデー, 『開拓地の生活』(体験記) 発行。 サミュエル＝ストリックランド, 『カナダ西部における27年間』(体験記) 発行。 カナダ・ウエストの学校法, 分離学校支持者に公立学校税支払いを免除。 グラマースクール, グラマースクール法により, 政府の管轄下に編入(教師, 大学卒業資格要)。</p>	<p>クリミア戦争起る(～1856年)。</p>
<p>キャサリン＝パー＝トレイル, 『女性移民の手引き』発行。</p>	<p>日米和親条約締結。</p>
<p>カナダ・ウエストにおけるカソリック系分離学校数41校。 セント・マイケルズ・カレッジ, 政府より</p>	

カナダ史年表

西暦	政治・外交・探険	経済・社会・技術
1855	ニューファンドランドで責任政府樹立す。	
1856	5. 24. タシェーリオン=A=マクドナルド内閣成立。	
"		10. 27. グランド・トランク鉄道, モントリオール-トロント間営業開始。
1857	11. 26. J=A=マクドナルド-カルティエ内閣成立。	
"	12. 31. ビクトリア女王, オタワをカナダの将来の州都と選定。	
"		
1858		2. 一. フレイザー川で金鉱発見。
"	5. 30. ハドソン湾会社, プリティッシュ・コロンビアに関する特許を取消さる。	
"	8. 2. ブラウン-ドリオン内閣成立。	
"		8. 5. 大西洋海底ケーブル完成。
"	8. 6. カルティエ-J=A=マクドナルド内閣成立。	
"	8. 20. プリティッシュ・コロンビア植民地創設: ハドソン湾会社, 同地域の管轄権を失う。	
1859		1. 一. カナダ銀貨発行。
"	9. 24. 州都ケベックへ移る。	
"		
1860		グランド・トランク鉄道完成。
"		
"		

カナダ史年表

文 化	国 外
<p>補助金を受ける。 グラマースクールと公立学校の統合，カナダ・ウエストにおいて認可。</p>	
<p>-チャールズ＝サングスター，『セントローレンス河とサングネー川』（詩集）発行。 アイルランド系プロテスタント，エドワード＝コリガン裁判，ケベックにて行なわる。</p>	<p>-アロー号戦争起る（～1860年）。</p>
<p>-チャールズ＝ヘヴィーセッジ，『サウロ』（長篇詩劇）発行。 カナダ文学学校，バプチストによりウッドストックに開設。 フランス系カナダ人及び非英語系カナダ人のための普通学校，P＝J＝O＝シュボーにより開設。</p>	<p>-セポイの乱起る（～1858年）。</p>
<p>-トマス＝ダーシー＝マギー，『カナダのパラッドとおりおりの詩』発行。 カナダ・ウエストのグラマースクール，校長資格，校舎等不十分の旨の報告書提出。</p>	<p>-日米修好通商条約成立。 ムガール帝国滅亡：英のインド統治法案通過。</p>
<p>-ポール＝ケイン，『ある画家の放浪』発行。 カナダ・イーストの公立学校教育委員会，組織さる。</p>	
<p>-チャールズ＝サングスター，『宵の明星』（詩集）発行。 アルバート＝ラコンブ神父，フオート・エドモントンに学校開設。 ジョナサン＝オーデル，『ジョージフ＝</p>	<p>-北京条約締結。</p>

カナダ史年表

西暦	政治・外交・探険	経済・社会・技術
1860		
1861		モントリオールに視覚障害者施設設立。
"	11. 8. トレント号事件発生：英船で渡欧中の南部側外交官2名、北部海軍により、公海上で拉致さる。	カナダ・ウエストの人口、1,396,091人、カナダ・イーストの人口、1,111,586人、ニューブランズウィックの人口、
"	12. 3. トレント号事件による緊張：英兵3000名、カナダへ派遣。	252,047人、ノヴァスコシアの人口、
"	12. 26. 米国務長官W=H=シュワード、南部外交官の釈放を命ず：英米間の危機回避さる。	330,857人、プリンスエドワード島の人口、80,857人。
1862	サンドフィールド=マクドナルド=シュット内閣成立。（～1834年）	
1863	5. 16. サンドフィールド=マクドナルド=ドリオン内閣。	
1864	タシェーJ=A=マクドナルド内閣成立。	
"	6. 30. ジョージ・ブラウンの入閣により、「大連立」内閣成立：連邦形成への契機生まる。	
"	9. 1. シャーロットタウン会議開催：沿海地方連合を模索。カナダ州代表参加。	
"	10. 10. ケベック会議開催：連邦結成のための72ヶ条の決議採択。（～10月29日）	
"	10. 19. カナダへ亡命中の南部連合の人々、ヴァーモント州のセント・オルバンス襲撃。	
1865	2. 3. カナダ州議会、英領北アメリカ諸州の合同について、イギリス女王に奏請することを決議。	
"	3. 7. ケベック決議、ノヴァスコシ	

カナダ史年表

文 化	国 外
<p>スタンズベリーとジョナサン＝オーデル 『医師の忠誠なる詩』発行。 カナダ・ウエストにおけるカソリック系分 離学校数, 115校に増加。</p>	<p>4.12. 南北戦争開始: サムター砦への南 部側の砲撃。 イタリア王国成立: ヴィットリオ＝エマヌ エレ2世即位。</p>
<p>トマス＝マカラック, 『メフィバシユス＝ ステブショール書簡集』発行。 分離学校法案(通称スコット法)発効(両 親の教育費負担軽減制定)。 ジョージ＝ダクストン＝ヤング, カナダ・ ウエストにてグラマースクール視学に就 任(以後, 年次報告にて, グラマー・ス クールの欠陥指摘)。 トリニティー・カレッジ, 政府より補助金 を受ける。</p>	<p>リンカーンの奴隷解放宣言。 太平天国滅亡。 第1回インターナショナル結成。(～1876 年)。</p>
<p>チャールズ＝ヘヴィーセッジ, 『代弁者』 (小説)発行。 チャールズ＝ヘヴィーセージ, 『ジェフサの 娘』(長篇叙事詩)発行。</p>	

カナダ史年表

西暦	政治・外交・探険	経済・社会・技術
1865	ア議会で採択、ニューブランズウィック議会で否決。	
"		
"	7. 11. 加・米間通商会議、互恵の継続に合意。(米の廃棄宣言に伴う1年の猶予期間の承認)。	
"	8. 7. ベロー—J=A=マクドナルド内閣成立。	
"	10. 20. オタワを首都と定める宣言行なわる。	
1866	3. 17. 合衆国、互恵条約を終結させる。	アパー・カナダ銀行破産。
"	4. 10. ニューブランズウィックに対するフェニアン団員の侵入阻止。	
"	5. 31. ライムストーン・リッジの戦：フェニアン団員、ナイアガラ川を越えて侵入。カナダ民兵、これを撃退す。	
"	11. 19. プリティッシュ・コロンビアとヴァンクーヴァー島植民地の合併宣言。	
"	12. 4. ロンドン会議：連邦結成のためのロンドン決議採択。	
1867	3. 29. 英領北アメリカ条例成立：女王の裁可下る。	
"	7. 1. 英領北アメリカ条例発効：4州より成るカナダ自治領成立。ジョン=A=マクドナルド初代内閣発足。	
"	11. 6. 第1回自治領議会開かる。	

カナダ史年表

文 化	国 外
<p>教育権限に関するトーマス＝D＝マギーの提案，「英領北アメリカ条例」の第93条に導入。</p> <p>カナダ・ウエストにおけるカソリック分離学校数，161校。</p> <p>カナダ・ウエストの公立学校生徒数 32,719人，学校数 4,422校。1846年比し，50%増加。</p>	<p>4.12. 南北戦争終る：アポマトックスにおける南軍の正式降伏。</p> <p>プロシア＝オーストリア戦争。</p> <p>英の第2次選挙法改正。米，ロシアよりアラスカ購入。日本，王政復古の大号令。</p>